

# 各務原市地域包括支援センターつつじ苑通信

令和2年初夏号

新型コロナウイルスの出現により、生活は大きく変わりました。不要不急の外出を控えるなど、感染拡大防止にみなさんが取り組まれました。「緊急事態宣言」は解除されましたが、完全に終息するまでには、まだまだ時間がかかるでしょう。

## ◆お元気コール健康チェック事業

新型コロナウイルスに関連して、各務原市高齢福祉課と地域包括支援センターは、要援護高齢者台帳に登録のあるお一人暮らしの高齢者の方々に、主に電話による生活状況などの確認を行いました。そして、外出自粛による運動不足・身体機能の低下を少しでも防ぐため、自宅で簡単に取り組むことのできる運動や栄養についての情報などが載っているパンフレットをご自宅の郵便受けにお届けしました。

## ◆オンラインミーティング



昨年度のおわり頃から、ほぼすべてのイベントや会議が中止・延期となりました。もともと必要だからおこなっていた集まりや会議であり、感染拡大防止のため

(無断転載を禁じます)

にまったく無くなってしまふのは残念なので、何とか違った形でも開催できないかと、オンラインミーティングができる環境を準備していました。6月12日、同じく準備を進めていた地域包括支援センターリバーサイド川島園と、東海中央病院の各務原市在宅医療・介護連携支援ステーションとで、運用テストも含めて、オンラインミーティングをおこないました。テーマは、これから少しずつ地域のみなさんにもご協力いただき、その貴重なご意見を伺うことになる、各務原市版『アドバンス・ケア・プランニング』のツールについてでした。

新型コロナウイルスに対しては、基本的な感染防止対策を実践するとともに、引き続き感染リスクが高まる3密（密閉空間・密集場所・密接場面）がそろふ場所を回避する必要があります。また、第2波・第3波の可能性もあります。民生委員など地域のみなさん、ケアマネジャーや介護保険サービス事業所など関係機関のみなさん、この機会にそれぞれの家や事業所にいながらオンラインミーティングができる体制を作っていきますか？お声かけをさせていただくかもしれません。ご理解いただける方、よろしくお願ひいたします。

#### ◆ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは？

～厚生労働省では、今まで「ACP：アドバンス・ケア・プランニング」として普及・啓発を進めてまいりましたが、より馴染みやすい言葉となるよう「人生会議」という愛称で呼ぶことに決定しました。～  
（厚生労働省ウェブサイトより）

人生の終わりで、あなたは、どのように過ごしたいですか？  
もしものときのために「人生会議」  
～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～  
（11月30日～12月31日）

話合いの進めかた（例）

- あなたが大切にしていることは何ですか？
- あなたが信頼できる人は誰ですか？
- 信頼できる人や医療・ケアチームと話し合いはしたか？
- 話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましたか？

あなたが大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自ら考え、また、あなたの信頼する人たちと話し合うことを言います。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_02783.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html)

地域包括の活動について、この通信について、など、ご意見お待ちしております。

電話058-371-2226 FAX058-371-8431（担当 長谷川・石川・林・中村）

（無断転載を禁じます）